

主要教科 [社会]

図書コード・書名		563	こぐまちゃんえほん第1集 こぐまちゃんとぼーる	B06	幼児絵本シリーズ くだもの	
発行者・著者		こぐま社	わかやま けん	福音館書店	平山和子	
判型・ページ数・価格		19.3×21.0cm	18ページ	800円	21.5×20.3cm	24ページ 800円
採択基準	基本観点					
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	ボールを使って遊ぶ楽しさを知る。		果物の食べ方を通して、食べられるところと食べられないところを知ることができる。		
		関連教科 (国語、生活)		関連教科 (国語、生活)		
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適応していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	A・(B) 段階		A・(B) 段階		
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	動作に合わせてそれに対応した言葉かけをすると楽しい遊びにすることができる。		果物を食べる経験をさせて、果物の様子や皮のむき方を観察させる必要がある。		
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	ボール遊びを通して、「ボールをさがす」ことや、拾ってもらった人に「ありがとう」と言うことなどが経験できる。 ボール遊びの楽しさに関心・興味をもたすことができる。		家庭生活で食事に出てくる果物を中心に取り上げている。 食べたいという意欲を持たせ、くだものに対する関心を高めるよう配慮されている。		
	(2) 自主性や創造性、思考力の育成	ボール遊びを友達とすることを通して、自ら遊ぼうとする態度が育成できる。		掲載されている果物で、フォークなど道具を使って食べるもの、直接手で食べるものと区別できる力を培うことができる。		
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	ボール遊びと他の遊びを組み合わせた遊びに発展させることができる。		果物ごとに食べ方や皮のむき方に関心をもたせることができる。		
	(2) 全体の分量	分量は少ないが、子どもの興味に応じて繰り返し指導できる。		季節の果物が出てくるので、季節にあわせて指導できる。		
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	挿絵、文字、文章とも簡潔できれいである。挿絵は黒でふちどっており、見やすくできている。		挿絵は写実的で実物そっくりである。 文字が少なく、果物の名と「さあどうぞ」の繰り返しである。		
	(2) 図表、写真等の資料	使用されていない。		使用されていない。		
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	美しく鮮明である。		鮮明である。		
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	文字は3号活字が使われている。各ページとも左が絵、右が字で、文字は中央部分に数行で印刷されている。		文字はすべて2号活字が使われており、1語だけ記載されている。		
	(3) 用紙、製本、表紙	用紙は丈夫である。表紙は堅ろうである。		用紙は丈夫である。表紙は堅ろうである。		
備考 (発行年)	こぐまちゃんの楽しそうなボール遊びを通して、一人遊びから友達とのボール遊びへ発展させることによりB段階の児童・生徒にも活用できる。		食物の食べ方やマナー、衛生にも指導と関心をもたせることができることからB段階の児童・生徒にも活用できる。			
			(S45)	(S56)		

主要教科 [社会]

図書コード・書名		B03	こぐまちゃんえほん第2集 こぐまちゃんのみずあそび	503	こぐまちゃんえほん第2集 こぐまちゃんのうんてんしゅ		
発行者・著者		こぐま社	わかやま けん	こぐま社	わかやま けん		
判型・ページ数・価格		19.4×21.2cm	20ページ	800円	19.3×21.0cm	11ページ	800円
採択基準	基本観点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	水遊びをしながら、花や動物と遊んだり、楽しい遊びをつくり出したりすることができる。		身近なおもちゃ（バス、トラック、ぬいぐるみ）を使って、自動車遊びができる。			
		関連教科（生活）		関連教科（国語、生活）			
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	A・B 段階		A・B 段階			
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	挿絵や文章等、幼児向きに表現されている。従って低年齢児を対象に使用することが適切である。		自動車遊びを通して、常に教師の言葉かけが必要である。			
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	簡単な道具を使って遊びを工夫して楽しむ経験を広げる。 遊びの道具とあるものについて関心を持たせることができる。		自動車、信号、バス停など日常生活にあるものばかりで、乗り物遊びに対する興味・関心を高めることができる。			
	(2) 自主性や創造性、思考力の育成	身近な草花や小さな動物に対する豊かな感性をはぐくむ。		教師といっしょに自動車遊びをすることにより、バス停、信号の持つ意味も指導できる。			
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	1人遊びから仲間の遊びへ、小さな道具から大きな道具を使っての遊びへと発展させる。		おもちゃ等を使っての一人遊びから、友達との乗り物遊びへ広げることができる。			
	(2) 全体の分量	遊びの学習の中に臨時取り入れ、遊びを生み出す材料として、年間を通して使用できる。		自動車遊びだけで、分量は少ないが繰り返し使用できる。			
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	単純化された印象にのこる絵で子どもの心に入りやすい。 説明文はリズムがあり楽しく読むことができる。		挿絵は黒のふちどりがしてあり、見やすく、親しみやすい絵である。 文章はごっこ遊びに使う言葉であり、わかりやすい。			
	(2) 図表、写真等の資料	使用されていない。		使用されていない。			
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	鮮明な印刷で見やすい。		非常にきれいな色でバックの色との調和がとれている。			
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	4号活字でゆったり書かれていて読みやすい。		字は3号活字である。 左が絵で右が文章である。			
	(3) 用紙、製本、表紙	用紙は紙質が良い。製本はしっかりしている。重さは適切である。		表紙は堅ろうである。			
備 考 (発行年)		領域・教科を合わせた指導に使用するのに適切である。		生活科や遊びや校外学習を含めた総合学習に適し、主に、ごっこ遊びへの発展が期待できる。			
		(S46)		(S46)			

主要教科 [社会]

図書コード・書名		510	幼児絵本シリーズ ずかん・じどうしゃ	508	パートンののりものえほん でんしゃ	
発行者・著者		福音館書店	山本忠敬	金の星社	パイロン・パートン	
判型・ページ数・価格		20.5×21.7cm	24ページ	800円	15.8×18.2cm	32ページ
採択基準	基本観点					760円
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	日常生活の中でよくみかけるバスなどに興味をもち、それぞれの車の社会的役割を知り、どの車も自分たちの生活と深い関係があることを知ることができる。 関連教科（国語、生活）		これまでの自分の電車に乗った体験を思い出しながら教師の読み聞かせや挿絵を楽しむことができる。 関連教科（生活）		
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適応していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	A・B 段階		A・B 段階		
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	年齢の高い子どもには、発問を工夫することが必要である。		挿絵を見せながらゆっくりと丁寧な言葉かけを行い、自分の経験を思い出したりイメージをふくらませたりしながら学習を進めるとより効果的である。		
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	校外学習などによって交通機関を利用させ、生活経験を広げることができる。 バスなどに乗った経験があると思われるので興味・関心につながる。		日常的に見たり乗ったりした経験のある電車を題材にしており興味をもたせやすい。		
	(2) 自主性や創造性、思考力の育成	「タイヤはどれ」と発音することから出発して、その働きまでの思考が深まる。		電車を中心に、それにまつわる人や町の様子等にイメージを広げることができる。		
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	バス車庫などの見学によって生活経験を深めることができ、また名称を覚え、ごっこ遊びへ発展できる。		電車だけでなく他の乗り物に興味を広げ、乗り物遊びに発展させることができる。		
	(2) 全体の分量	月単位の使用分量である。		年間を通して使用できる。		
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	固有名詞と絵だけの本である。		文章、絵ともに親しみやすい。		
	(2) 図表、写真等の資料	写真的な絵で正確に表現されている。		使用されていない。		
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	バックが白色なので自動車がはっきり分る。		色彩ははっきりしておりシンプルでわかりやすい。		
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	名詞は5号細ゴシックで書かれている。		16ポイントで書かれている。		
	(3) 用紙、製本、表紙	用紙は紙質が良い。製本はしっかりしている。		表紙は厚紙を使用し、堅ろうである。		
備 考 (発行年)		領域・教科を合わせた指導に使用できる。				
		(S62)		(H4)		

主要教科 [社会]

図書コード・書名		C03	はっけんずかんのりもの 改訂		532	これしってるよたべもの	
発行者・著者		学習研究社	西片拓史		文化出版局	織茂恭子	
判型・ページ数・価格		21.5×26.3cm	34ページ	1,880円	B5型 24.0×18.5cm	24ページ	800円
採択基準	基本観点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	働く場面ごとに取り上げられた、いろいろな乗り物の名称や特徴、役割や乗り物の中の様子等について知り、身近な社会への関心を深めることができる。 関連教科 (生活)			いろいろな種類の店があり、食べものがどのように置かれているか、また食卓にどう置かれるかがわかる。 関連教科 (国語、生活)		
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	(A)・B・C 段階			A・B・(C) 段階		
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	働く乗り物の様子を人物を入れた絵で描き、次ページで実際に乗り物を写真で表すという、見開き2ページのパターンである。			ひとつをとり出して見る場合と他のものといっしょに並べられている場合とが対比できるようになっているので、探し出す活動を促す必要がある。		
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	絵のページの「まど」を開くと乗り物の中の様子や働く様子がわかる等、興味・関心を引き出しやすいしかけになっている。乗り物の写真に簡単な説明が付いており、特徴や役割をとらえることができる。			野菜、魚、乳製品、肉類、ジュース、ケーキなどの名前をおぼえたり、レットルの文字を読んだりさせ買い物の経験につなげることができる。果物の芯、魚のひれ、レットルや箱などに興味をもたせるよう配慮されている。		
	(2) 自主性や創造性、思考力の育成	吹き出しの問いかけに対する答えを考えたり、興味・関心をもちながら「まど」を開けたりする等、自主的な活動を引き出すことができる。			買い物に行ったとき、目的物を早く見つけたり、名前を正しく言うなどの効果が期待できる。		
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	乗り物が社会の中で果たしている役割について考えたり、調べたり、まとめたりする等の学習につなげることができる。			店の様子や食品管理に関心をもち、ごっこ遊びに発展させる。たべもの重さにも関心を広げることができるように秤が二箇所描かれている。		
	(2) 全体の分量	「まちでみかけるのりもの」「くらしをまもるじどうしゃ」等、8つの場面を設定して構成されている。			一度に読み切ることができ、年間を通して季節の関係なく何度でも使用できる。		
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	すべて、ひらがなとカタカナで書かれている。文章は、分かち書きされている。			児童の過去の経験や近所の商店の風景を思い出すように描かれている。物の名前・値札以外に文字は使われていない。		
	(2) 図表、写真等の資料	絵と写真が使用されている。			使用されていない。		
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	多色刷りである。			描出したものは濃く、店頭のは淡く印刷されている。		
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	吹き出し、説明は、9ポイントの文字で書かれている。行間は1mmである。名称は14～20ポイントの文字で書かれている。			字は4号活字が使われている。		
	(3) 用紙、製本、表紙	用紙は0.8mmの厚紙、表紙は4mmの厚紙を使用している。			表紙は堅ろうである。重さは適切である。		
備 考 (発行年)					レットルや値札の文字に関心を持つならC段階の児童向きで、左ページの品を右の絵の中から指摘するだけならA段階の児童に適している。 (H11) (S45)		

主要教科 [社会]

図書コード・書名		509	ノントンあそぼうよ4 ノントンおよぐのだいすき		551	生活図鑑カード マーク標識カード1集	
発行者・著者		偕成社	大友康匠・幸子		くもん出版	発行人 志村直人	
判型・ページ数・価格		A5変型判 18.5×15.5cm	30ページ	630円	18.3×12.3cm	31枚	900円
採択基準	基本観点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	人が困っているとき手助けすることの大切さを海の動物の働きから学ばせる。 関連教科 (国語、生活)			「しんごうき」「いちじていし」など、社会生活におけるルールをマークや標識によって親しみながら学ぶことができる。		
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	A・B・C 段階			A・B・C 段階		
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	どの動物が言う言葉かを一つずつ指差しながら指導することが必要である。			カード1枚につき一つの標識やマークが描かれており、裏面には挿絵で標識の意味が文章と共に説明されているため、見やすく分かりやすいように配慮されている。		
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	海辺の生きものに関心が向くように配慮されている。			児童生徒にとって身近なマークや標識を集めており、名前や役割について興味を持って学習することができる。		
	(2) 自主性や創造性、思考力の育成	自分より小さいものが困っているときに力を貸そうとする態度を強調している。			裏面の解説と合わせて読むことで、どのような場面で、なぜその標識やマークが必要なのかを考えることができる。		
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	劇学習などに発展できる。 他の絵本を読むとき自分で言葉を作る練習になる。			校外に出て学習する際のルールを確認したり、エコマークやグリーンマークといった消費生活に関わることについても考えを広めたりすることができる。		
	(2) 全体の分量	擬人的な会話にひきつけられて読み進むなら興味の持続の可能な分量である。			1枚のカードにひとつ標識かマークが描かれていて、全部で31種類が扱われている。		
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	見開き2ページを効果的に使い、レイアウトもよい。 絵はすべて黒で輪郭をとり、各動物の目で感情を表している。			全ての漢字にルビが振ってあり、それぞれのマークや標識についての説明が挿絵とともに100字程度で簡潔に書かれている。		
	(2) 図表、写真等の資料	使用されていない。			使用されていない。		
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	各動物の言う「ことば」がはっきりわかるように印刷されている。			白地に実際の標識の色で鮮明に描かれている。		
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	字はすべて3号活字で文章記述は2箇所に分かれているページが多い。			カード裏面の説明文は12ポイントで書かれている。		
	(3) 用紙、製本、表紙	表紙は堅ろうである。重さは適切である。			カードは0.8mmの厚紙で、箱入りである。		
備 考 (発行年)		ストーリーとして扱うならC段階の児童、絵の興味を中心に扱うならB又はA段階の児童に適している。					
		(S52)			(H8)		

主要教科 [社会]

図書コード・書名		535	こぐまちゃんえほん第3集 こぐまちゃんありがとう	507	こぐまちゃんえほん第4集 しろくまちゃんぼんかいに		
発行者・著者		こぐま社	わかやま けん	こぐま社	わかやま けん		
判型・ページ数・価格		19.4×21.2cm	20ページ	800円	19.4×21.2cm	20ページ	800円
採択基準	基本観点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	お手伝いをして言われた「ありがとう」や、助けてもらって自然に言えた「ありがとう」のうれしさやすがすがしさを知ることができる。 関連教科（国語、生活）		お母さんと一緒に買い物をするなかで、道を歩く時の注意や、買い物の楽しさを覚えたり、我慢する心を身につけることができる。 関連教科（国語）			
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	(A)・B 段階		(A)・B 段階			
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	表情や動作の表現を取り入れ理解を深める必要がある。		問いかけやたしかめを繰り返しながら楽しく扱うこと大切である。			
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	簡単なお手伝いを進んでする経験を広げることができる。 お手伝いをして言われた「ありがとう」や本の色彩等に興味をおこさせる。		家族と一緒に町へ行ったり遊んだりする経験をいっそう広げることができる。 にぎやかな商店街の店や、たくさんの商品に関心をもたせることができる。			
	(2) 自主性や創造性、思考力の育成	簡単なお手伝いを進んでする自主性を育てる。		希望がかなえられなくても我慢する心を育てる。			
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	生活の中の基本的なあいさつのことばやその意味を発展させることができる。		お母さんのお手伝いをした経験を、ごっこ遊びを楽しむ学習に発展できる。			
	(2) 全体の分量	朝夕のあいさつや食事のあいさつ等と結びつけながら、年間を通して使用できる。		生活経験と本を対比させながら内容を深め、年間を通して使用することができる。			
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	パッと目に入る明確な絵で子どもの心に入りやすい。		単純化された印象に残る絵で、子どもの心に入りやすい。 説明文はリズムがあり楽しく読むことができる。			
	(2) 図表、写真等の資料	使用されていない。		使用されていない。			
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	鮮明な印刷で見やすい。		鮮明な印刷で見やすい。			
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	4号活字でゆったり書かれていて読みやすい。		4号活字でゆったり書かれていて読みやすい。			
	(3) 用紙、製本、表紙	用紙は紙質が良い。製本はしっかりしている。重さは適切である。		用紙は紙質が良い。製本はしっかりしている。			
備 考 (発行年)		読み聞かせの場合はA段階にも使用できる。 (S47)		読み聞かせの場合はA段階にも使用できる。 (S48)			

主要教科 [社会]

図書コード・書名		511	幼児絵本シリーズ かじだ しゅつどう	573	ピクチャーコミュニケーション 1 サインとマーク	
発行者・著者		福音館書店	山本忠敬		フルーベル館	村越愛策 (監修)
判型・ページ数・価格		21.6×20.5cm	24ページ	800円	24×24cm	64ページ 1,800円
採択基準	基本観点					
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	消火や救助など、火事に現場で活躍する消防車や消防隊員の姿を通して、消防署の様子や役割を学ぶ。		主に公共の場にある、一般的なシンボルサインやマークを種類ごとに知ることができ、どのような用途で使われているか理解することができる。		
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切であること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	(A)・B・C 段階		(A)・B・C・(D) 段階		
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	具体的に消防署の見学と合わせて学習できると効果的であると考えられる。		実際にシンボルサインやマークが使われている場所へ行き、その場の様子を合わせて学習できると理解しやすい。		
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	日常的には見ることが少ない実際の消防活動や救助活動などがいきいきと描かれ、興味をもつことができる。		交通標識やトイレマーク等、日常的に目にするマークとともに、「○」「×」などのシンボルサインが扱われており、日常生活の中で関心を深められる。		
	(2) 自主性や創造性、思考力の育成	安全な生活を守るための消防署の役割やそこで働く人々の努力を考えることができる。		自分たちの周りにあるシンボルサインやマークを探し、その意味を確かめ、分類するなどの学習ができる。		
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	火事の恐ろしさを知り、火を大事に扱う経験を発展させたり、学校の避難訓練などの行事に結びつけて学習することができる。		シンボルサインやマークは何のために使われているのか、どのような人の役に立っているのか等を発展的に理解できるように学習の流れを設定できる。		
	(2) 全体の分量	繰り返し使用することで、年間を通して活用できる。		シンボルサインやマークが中心で説明はさほど多くないが、それぞれのマークに関わる社会生活について扱えば、年間を通して使用できる。		
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	文章は簡潔である。挿絵は消防車の力強さや火事場の雰囲気がよく表現されている。		説明は簡潔で、漢字にはふりがなが付けられている。		
	(2) 図表、写真等の資料	使用されていない。		シンボルサインやマークは見やすくわかりやすい。		
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	着色は、消防車の力強さを表現するため赤色が強調されている。		鮮明である。		
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	2号活字が使用されている。		解説は4号活字で書かれている。他は10～14ポイントが中心に使用されている。		
	(3) 用紙、製本、表紙	用紙は紙質が良い。製本はしっかりしている。表紙は厚紙を使用し、堅ろうである。		製本はしっかりしている。表紙は厚紙を使用している。		
備考 (発行年)		読み聞かせの場合は、A段階にも使用できる。				
		(H7)		(H15)		

主要教科 [社会]

図書コード・書名		585	こどものとも絵本 たろうのおでかけ	586	こどものとも絵本 しょうぼうしゃじふた		
発行者・著者		福音館書店	村山桂子・堀内誠一	福音館書店	渡辺茂男・山本忠敬		
判型・ページ数・価格		18.8×26.2cm	27ページ	800円	18.8×26.2cm	27ページ	800円
採択基準	基本観点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	道路を歩くときの約束事（交通規則）を、おつかいを通して体験できる。 関連教科（国語、生活）		消防署と、そこで活躍する各種の消防自動車の絵を楽しみながら、消防署の役割や消防自動車の機能を知る。 関連教科（生活、国語）			
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適応していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	(B)・C 段階		(B)・C 段階			
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	身近な生活体験をとおし、社会の仕組みに目を向けるように指導することが必要である。		生活空間のせまい肢体不自由児には、消防署の見学などと結びつけることが必要である。			
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	買い物のお手伝いをしたり、店の人と話したりする体験に広めることができる。 にぎやかな商店街や町で働いている人に興味を持たせることができる。		火事の恐ろしさを知り火を大事に扱う経験に広げることができる。 消防自動車の独特の形や消防士の服装に関心を持たせることができる。			
	(2) 自主性や創造性、思考力の育成	交通信号や交通標識に関心を寄せながら、なぜ危険なのか、なぜだめなのかを考えさせる。		火事の種類によって、機能の異なる消防自動車が必要なことや、火事の原因について考えさせることができる。			
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	やさしいおまわりさんや、ゆうびんやさんの仕事を考え、理解させ、社会への広がりが見込める。		みんなの生活を守るために働いている警察や病院や役所の学習に発展できる。			
	(2) 全体の分量	生活経験の広まりで得た知識を本と対比させ、理解を深めるために、年間を通して使用できる。		学校の避難訓練等の行事と結びつけて利用することによって年間を通して使用できる。			
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	幼児向きの楽しい絵である。 文章に会話文が多くとり入れてある。		絵半分、文字半分で構成されている。 消防自動車は、擬人化して表現されている。			
	(2) 図表、写真等の資料	使用されていない。		使用されていない。			
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	着色は、輪郭と一致していないが、それが暖かい雰囲気をかもし出している。		火事場の雰囲気をよく表現した色刷りがされている。			
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	活字は4号活字で、書体はゴシック体である。行間が広いので読みやすい。		4号活字で書かれ、読みやすい。			
	(3) 用紙、製本、表紙	用紙は紙質が良い。製本はしっかりしている。		製本はしっかりしている。表紙は堅ろうである。			
備 考 (発行年)	読み聞かせの場合は、B段階にも使用できる。		読み聞かせの場合は、B段階にも使用できる。 ページ数の記名が小さく、わかりにくい。		(S59)	(S38)	

主要教科 [社会]

図書コード・書名		510	おみせやさんでくださいな!		005	こどもがはじめてであう につぼん地図絵本	
発行者・著者		リーブル	さいとうしのぶ		戸田デザイン 研究室	とだこうしろう 佐々木高明	
判型・ページ数・価格		15.1×16.6cm	144ページ	1,800円	26.1×21.5cm	49ページ	1,800円
採択基準	基本観点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	動物が店主のお店が37軒あり、それぞれのお店で買い物をする設定である。お店でのやりとりなど、買い物の仕方について学ぶことができる。最終ページには、楽譜が載せられており、歌に合わせて読み聞かせをすることができる。 関連教科(生活)			各地方ごとの地図の上に大きく都道府県名を記し、県庁の所在地や特産物、有名な建物などをわかりやすいイラストで描いている。 また、主な山や川、道路や鉄道などについてもわかりやすくまとめられている。		
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	A・B・C・(D) 段階			B・C 段階		
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	お店を挿絵で示し、店の種類が分かるように説明されている。お店には動物が登場し、親しみを持ちやすい設定がされている。			特産物や有名な建物については、具体物や写真、スライド教材等と併用するとより効果的である。		
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	身近な動物が店主のお店が37軒登場する。身近な食べ物や生活用品を販売するお店が出てくるため、興味・関心を持ち学習することができる。			テレビ等で見たたり聞いたたりした各地方の特徴がわかるさし絵により関心を抱かせることができる。		
	(2) 自主性や創造性、思考力の育成	様々なお店で買い物の内容を探し出すなど、実際の買い物場面を自ら想定して考えることができる。			各地方ごとの特産物、動物、祭り、山、川等をテーマ別に整理させたり比較させたりできる。		
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	様々なお店屋さんでの買い物場面を学習することができ、実際の買い物場面に発展させて学習することができる。食べ物や日用品についての語彙の学習も可能である。			各地方の気候や生活等についても発展させて学習できる。		
	(2) 全体の分量	1軒の店が見開き4ページにしめされており、年間を通して使用することができる。			年間を通して使用できる。		
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	文字は手書き風である。カナ、漢字にルビが振られている。			ひらがなで示されており読みやすい。 挿絵は単純な線で示され、色使いも鮮やかである。		
	(2) 図表、写真等の資料	使用されていない。			川の長さ比べや山の高さ比べを絵を利用して図表化してありわかりやすい。		
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	多色刷りである。1ページ目に文字、2ページ目にはお店の挿絵、3、4ページ目には店内の挿絵が示されている。			鮮明である。		
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	文字は手書き風である。カナ、漢字にルビが振られている。文字数は少なく非常に大きい。			3号活字が使用されている。		
	(3) 用紙、製本、表紙	表紙は厚紙である。			製本はしっかりしている。表紙は厚紙を使用し、堅ろうである。		
備考 (発行年)							
		(H28)			(H3)		

主要教科 [社会]

図書コード・書名		006	こどもがはじめてであう せかい地図絵本		504	はじめてちずかん1 ドラえもんの世界ちず	
発行者・著者		戸田デザイン 研究室	とだこうしろう		小学館	監修 金窪敏知	
判型・ページ数・価格		26.1×21.6cm	49ページ	1,800円	30.2×21.6cm	26ページ	1,260円
採択基準	基本観点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	世界の国々、人々の生活の様子を知り、併せて海、山、川、気候等の自然との関係へと発展させながら知識を広げていくことができる。		豊富な世界各地の動植物・建造物・人々の衣装等のイラストや写真により、世界の国々・人々の生活の様子などを知り、世界の様子や自然など興味や関心をもつことができる。 関連教科(理科)			
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	B・C 段階		B・C 段階			
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	それぞれの絵の内容をていねいに理解させながら、互いの絵の関連性についても説明していく必要がある。		文字やイラストが多い中、それぞれの絵や写真の内容を具体物や視聴覚教材等の使用等の工夫をしながら、丁寧に理解できるように配慮することが大切である。			
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	各地の民族文化が絵で描かれていたり、日本の気節・時間と他の国々の比較も絵で描かれている等、自分に引き寄せて他の国々の理解ができるように配慮されている。		各地の動植物・建造物・人々の衣装等を知ることにより、主な国の位置や生活の様子への興味・関心を広げることできる。			
	(2) 自主性や創造性、思考力の育成	日常生活でテレビ等から得られる世界各国の情報に関心を深め知識を広げることができる。		写真や興味あるイラストにより地図に親しみ、主な国の自然や生活の様子を自分の周りや日本と比較することで思考を深めることができる。			
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	活用方法を工夫して国際理解へと広げることができる。		活用方法を工夫し、テレビ等で聞きすぎる世界の出来事や社会の移り変わりなどに興味や関心を持たせ、国際理解へと広げることができる。			
	(2) 全体の分量	繰り返し使用することで、年間を通して活用できる。		年間を通して使用できる。			
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	文章は平易で理解しやすい。挿絵は親しみやすくわかりやすい。		文字・絵の量が多く小さいのでやや見にくい。当該地域・国名は赤で書かれており分かりやすい。			
	(2) 図表、写真等の資料	世界の山の高さや川の長さが図表化されていてわかりやすい。		写真、イラストは正確で適切である。			
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	色彩も美しく鮮明である。		色彩に富み、印刷も鮮明である。			
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	3号活字が使用されている。		地域の説明は4号活字、国・建造物・動物名等は5号活字及びそれらの説明は8ポイントで書かれている。			
	(3) 用紙、製本、表紙	製本はしっかりしている。表紙は厚紙を使用し、堅ろうである。		製本はしっかりしている。表紙は厚紙を使用し、堅ろうである。			
備考 (発行年)	名については通称が用いられており、正式な名称を併せて理解する等配慮が必要である。		(H4)		親しみやすい登場人物が紹介するようになり、動植物・建造物・人々の衣装や生活、また地図への興味づけにもよい。 (H7)		

主要教科 [社会]

図書コード・書名		503	はじめてちずかん2 ドラえもんのにほんちず		A01	スカーリーおじさんの はたらく人たち	
発行者・著者		小学館	監修 坂田俊文		評論社	リチャード スカーリー	
判型・ページ数・価格		30.2×21.6cm	26ページ	1,260円	30.5×27cm	45ページ	1,700円
採択基準	基本観点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	地方ごとの地図の上に都道府県名を記し、動植物・建造物・玩具・地形等をイラストや写真により紹介しており、地域の様子や日本の自然や生活の様子などに興味や関心を持つことができる。 関連教科(理科)			いろいろな場所でさまざまな仕事や働く人たちの様子を絵本に同化しながら学習することができる。 関連教科(生活)		
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	B・C 段階			B・C 段階		
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	写真や文字及びイラストの数が多いため、一つのものに着目できるように問いかけたり、具体物や視聴覚教材と併用するとより効果的であると考えられる。			たくさんの絵の中から具体的に一つの絵に視点をあて、絵を見ながらどの人がどんなことをしているのかを見つけたり話したりしながら楽しみを持たせ、いろいろな仕事に関心をもてるようにすることが大切である。		
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	テレビ等で見聞きした各地域の特色が分かる写真やイラストにより、地図に親しみ、県の位置や生活の様子等に興味・関心を広げることができる。			本のお話としてだけでなく自分の町の様子を調べ、そこで働く人々に目を向けることができるようにすることが大切である。		
	(2) 自主性や創造性、思考力の育成	地方ごとの自然や生活の様子・特色をテーマごとに比較・整理することができ、探す楽しみを持たせたり思考を深めることができる。			どんなことをする人がいるかを知り、自分の生活との関わりを考えることができる。		
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	各地の動植物・建造物・風俗(祭りや玩具等)等を知ることにより、各地の気候や生活・社会の出来事などに発展させて学習することができる。			町に出かけお店調べ、仕事調べをしたり、自分の経験と照らし比べたりして進んで調べることができる。		
	(2) 全体の分量	年間を通して使用することができる。			年間を通して使用できる。		
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	文字・絵の量がやや多く字も小さいのでやや見にくい。 当該地方・県名は赤色で書かれており分かりやすい。			挿絵が主体であり、文章はそのページのお話の始まりの合図のようになって書かれている。		
	(2) 図表、写真等の資料	写真、イラストは正確で適切である。			使用されていない。		
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	色彩に富み、印刷も鮮明である。			多色で鮮明である。		
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	地方名は初号、地方の説明及び県名は4号活字、その他はほぼ8ポイントで書かれている。			5号活字で書かれている。		
	(3) 用紙、製本、表紙	製本はしっかりしている。表紙は厚紙を使用し、堅ろうである。			製本はしっかりしている。表紙は厚紙を使用している。		
備 考 (発行年)		親しみやすい登場人物が紹介しており、動植物・建造物・生活等や地図への興味づけにもよい。			絵本を見たり読んだりして、身近に見られる町の様子を思い浮かべられる興味づけとなる内容である。		
		(H7)			(H8)		

主要教科 [社会]

図書コード・書名		689	どこにいる？だれがいる？ さがせ！日本の歴史		C01	しごとば	
発行者・著者		岩崎書店	著者 青山邦彦		ブロンズ新社	作 鈴木のりたけ	
判型・ページ数・価格		31cm×23cm	39ページ	1,500円	29.5cm×23cm	40ページ	1,700円
採 択 基 準	基本観点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	見開きいっぱいの俯瞰するような挿絵で、各時代を象徴する様々な建造物や人々が描かれている。時代の様子やその時代に生きた重要人物を知り、歴史に興味関心を持つことができる。			児童や生徒に人気のある仕事について知ることができる。見開きの仕事場の挿絵から、それぞれの仕事で使われる専門的な道具や仕事の手順を知ることができ、興味・関心を持って学習を進めることができる。 関連教科（職業家庭）		
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切であること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	B・C 段階			B・C 段階		
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	見開きで大きな挿絵が配されているため視覚的に学習を進めることができる。イラスト中から探し出す対象がページ上部に描かれていて、対応して探すことができるように配慮されている。			説明的な文章は少なく、見開きに仕事場の情景が描かれ、それぞれ描かれた道具に名前が書かれている。また、仕事の手順を挿絵で表しており、視覚的な配慮がなされている。		
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	弥生時代「邪馬台国」の挿絵から現代「東京マラソン」まで時代を追って描かれているため、現代とのつながりを意識して、興味・関心を持ちやすい。			新幹線運転士やパティシエ、自動車整備士など9つの仕事について道具や作業を中心に詳しく書かれているため関心を広げることができる。		
	(2) 自主性や創造性、思考力の育成	大きな挿絵には様々な人物や、建物が描かれているため、自分で発見する楽しみや、描かれているものの意味を考える面白さを感じやすく、主体的に学習を進めることができる。			ディティールの細かい絵によって興味を持ちやすく、自分で何度も絵を見てさまざまなものを発見したり、知っているものと比較したりすることができる。		
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	とりあげている時代場面が限られているため、他の教材と合わせて学習することで、より発展的に学ぶことができる。			いろいろな仕事場にも自分の生活に馴染みのある道具があることに気がついたり、それぞれの仕事における社会的な役割について考えたりするなど、発展的に学ぶことができる。		
	(2) 全体の分量	8つの時代について描かれており、繰り返し使用することで、1年間を通して利用できる分量である。			9つの職業について書かれていて1年を通じて利用できる分量である。		
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	漢字には全てルビが振ってあり、簡潔な文章である。			挿絵が豊富である。ほとんどの漢字にルビが振ってある。		
	(2) 図表、写真等の資料	挿絵が中心で図表や写真は使用されていない。			写真は使用されていない。		
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	色彩豊かで、挿絵が中心である。			挿絵が写実的で温かみがあり親しみやすい。全編カラーである。		
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	12ポイント程度でゴシック体で書かれていて行間も広い。			おおむね10ポイントから14ポイントで書かれていて、挿絵のなかの道具についてはゴシック体で太く分かりやすい。		
	(3) 用紙、製本、表紙	12ポイント程度でゴシック体で書かれていて行間も広い。			表紙が厚く堅ろうである。製本がしっかりとしている。		
備 考 (発行年)							
		(H24)			(H21)		

主要教科 [社会]

図書コード・書名		876	しらべ図鑑 マナペディア なんでも日本一		561	みるずかん・かんじるずかん 地下鉄のできるまで	
発行者・著者		講談社	発行者 清水保雅		福音館書店	加古里子	
判型・ページ数・価格		26.4×19cm	47ページ	1,500円	24×24cm	32ページ	1,300円
採択基準	基本観点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	自然や特産物、構造物や鉄道に至るまで様々な「日本一」を知ることで自分が住む地域や、日本のいろいろな地域の様子に関心を持つことができる。			地下鉄のできる様子が順を追って説明されており、地下を掘る大型機械を使っている場面など普段目にするのでできない工事の様子や流れが、絵と解説で理解できる。 関連教科(国語)		
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	B・C・D 段階			B・C・(D) 段階		
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	説明文章よりも写真を大きくレイアウトしているため視覚的に見るべきポイントがわかりやすくなっている。			絵を見てイメージを膨らませる段階と、説明文を自ら読んで理解する段階の子どもによって、それぞれ授業の進め方を工夫する必要がある。		
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	鉄道や建築物など、視覚的に児童生徒が好む題材を多く取り入れていて興味・関心を広げやすい。			外からは見ることができない地下鉄ができる様子について知り、興味や関心をさらに深めることができる。		
	(2) 自主性や創造性、思考力の育成	様々な自然物や建築物の日本一を経験したことを踏まえ、比較したり考察したりすることができる。			地下鉄を建設する意義やできあがるまでの流れについて思考を深めることができる。		
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	校外学習や修学旅行などの事前学習として学びを広げたり、自分の住んでいる地域や社会と関連付けて学んだりすることができる。			公共機関や都市の機能、そこで働く人々について考える学習へと発展させることができる。		
	(2) 全体の分量	19の項目からなり、一年を通して利用できる分量である。			生活経験や知識に応じて、内容をふくらませていくことにより、年間を通して使用できる。		
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	全ての漢字にルビが振ってある。写真に応じて簡潔に説明された文章である。			各ページとも見開き2ページを使った絵があり、その下方に説明文が書かれている。本文は、ひらがなとカタカナで表記されている。(注釈文の漢字にはふりがなが付けられている。)		
	(2) 図表、写真等の資料	見開き1ページに2から4枚の写真があり、図表は少ない。			使用されていない。		
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	全編カラー印刷である。項目における中心的な写真を中央にレイアウトしている。			色鉛筆画の特色を生かした印刷である。		
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	本文は9から10ポイント程度で書かれていて、それぞれ見出し文については28から36ポイントで書かれている。			3号活字で書かれている。絵に重ねる形で文が書かれているページがある。		
	(3) 用紙、製本、表紙	表紙は厚紙を使用しており堅ろうである。			製本はしっかりしている。表紙は厚紙を使用している。		
備考 (発行年)							
		(H27)			(S63)		

主要教科 [社会]

図書コード・書名		L01	みぢかなかがく 町の水族館町の植物園 おさかなさんとやおやさん		M06	みぢかなかがくシリーズ 町たんけんーはたらく人みつけたー	
発行者・著者		福音館書店	小林亜星・三柴啓子		福音館書店	秋山 ともこ	
判型・ページ数・価格		30×23cm	56ページ	1,300円	30×23cm	40ページ	1,200円
採択基準	基本観点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	魚屋、八百屋の商店が詳しくリアルなイラストで描かれている。自らの生活と結びつけながら産業理解や仕事の理解を進めることができる。 魚の名前集め等から言葉の指導にも使用できる。 関連教科(国語、生活)			町で働く様々な人の様子が色鮮やかに描かれている。家族の職業や知っている職業と関連させながら、様々な仕事の存在を知り深めることによって、職業理解を進めることができる。 関連教科(生活、職業家庭)		
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適応していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	B・C・D 段階			B・C・D 段階		
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	イラストは鮮明であるが数が多いため具体物や写真を併用するとより分かりやすく効果的である。			多様な職業が描かれているため、その中から興味・関心に応じて抽出し、具体的に深めていくことが必要である。		
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	魚や野菜は日常生活と密接なものであり、生活年齢に関係なく興味・関心の糸口となりやすい。			身のまわりの大人の職業や自分がよく利用するお店等と関連させながら学習を進めていくことができる。		
	(2) 自主性や創造性、思考力の育成	知っている名前を挙げたり、名前と具体物を結びつけたりする活動から思考力を育てることができる。			身近にどのような仕事があるのか等の考察を通して社会理解や職業理解を進めることができる。		
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	ごっこ遊びや買い物学習の導入として使用できる。 発達段階に応じて仕事理解の導入としても使用できる。			ごっこ遊び等の遊びに発展させることができる。 また「自分のやってみたい仕事」を考えることから進路学習の導入に使用することができる。		
	(2) 全体の分量	生活経験と関連させながら年間を通して使用できる。			年間を通して使用できる。		
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	イラストは写実的であり具体的イメージをもたせやすい。 文字は基本的になかを使用している。			働く人々の姿がわかりやすいイラストで描かれている。 文字は基本的になかを使用している。		
	(2) 図表、写真等の資料	使用されていない。			使用されていない。		
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	鮮明である。			鮮明である。		
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	本文は14ポイントで書かれている。			本文は9ポイントで書かれている。		
	(3) 用紙、製本、表紙	表紙は厚紙を使用し、堅ろうである。			表紙は厚紙を使用し、堅ろうである。		
備考 (発行年)		(H7)			(H9)		

主要教科 [社会]

図書コード・書名		579	こどものとも絵本 かわ		A05	シリーズ生活を学ぶ5 遠くへ行きたいな	
発行者・著者		福音館書店	加古里子		福村出版	編者 富岡達夫・大井清吉	
判型・ページ数・価格		20.0×27.0cm	27ページ	800円	26.4×18.8cm	79ページ	2,000円
採択基準	基本観点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	川の発生から河口までの川の変化の様子や地域の様子が理解できる。 山間部（林業）平野部（農業・工業）での水の利用や生活のちがいが理解できる。 関連教科（国語、生活）		交通ルール、買い物の仕方、公共交通機関や公共施設の利用、遠足やキャンプ等野外活動の方法など社会生活を送る上で必要な知識やマナーを学ぶことができる。			
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適応していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	C・D 段階		C・D 段階			
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	フィールドワーク等を通して、実際に河原の様子や水の利用に目を向けさせる体験が必要である。		用語、説明文の難しいところは挿絵などを使いさらに分かりやすく理解できるよう工夫が大切である。			
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	川の水を利用して、いろいろな場所での人々のくらしの様子がわかり、働く人々への関心が深まる。		これまでの体験を振り返りながら学習することで、興味や関心を持つことができる。			
	(2) 自主性や創造性、思考力の育成	川の水の利用、地形、土地利用、産業等の結びつきが、総合的に理解できる。		社会生活を便利で豊かに、また安全に送るために大切なことを考えることができる。			
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	絵地図作りや紙芝居等の学習へと発展できる。		社会生活を送る上での基本的なマナーやルールを実際の生活の中に生かしたり、社会的視野を広げたりすることができる。			
	(2) 全体の分量	一場面ごとに学習を進めていくことが可能であり、年間を通して深く学習を進めながら利用できる。		校外学習の事前指導など年間通して使用できる。			
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	挿絵は、川を中心にしながら、各ページに必要な要素のみを巧みにクローズアップされ、効果的である。文章はすっきり整理され、必要な補助説明がある。		親しみやすい絵と文章で、分かりやすく表現されている。すべて漢字にルビがつけてある。			
	(2) 図表、写真等の資料	使用されていない。		使用されていない。			
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	落ちついたパステルタッチで統一され、目にやさしい配色である。		やわらかい色調で目にやさしい配色である。			
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	3号活字で平仮名のみを使用している。9ポイントで所々に補助的な文章を入れてある。		3号活字が使用されている。			
	(3) 用紙、製本、表紙	表紙は堅ろうである。		用紙は紙質が良い。製本はしっかりしている。表紙は厚紙を使用し、堅ろうである。			
備考 (発行年)							
				(S41)		(H7)	

主要教科 [社会]

図書コード・書名		004	いちばんわかりやすい 小学生のための 学習日本地図帳		G05	科学シリーズ ぼくらの地図旅行	
発行者・著者		成美社出版	正井泰夫（監修）		福音館書店	文・那須正幹 絵・西村繁夫	
判型・ページ数・価格		18.3×25.7cm	80ページ	1,200円	27.0×31.0cm	56ページ	1,900円
採択基準	基本観点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	日本各地方の地形や様子、見所や産業等を知り、我が国のいろいろな地域の様子や社会の移り変わりについて興味・関心をもつことができる。			二人の小学生が鉄道の駅から地図をたよりに、岬の灯台まで行く道程が、簡単な文章とさし絵で描かれ、地形図もそえられており、基本的な地図学習ができる。 関連教科（生活）		
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適応していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	(C)・D 段階			(C)・D 段階		
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	各地方ごとに同じ形式で記述されており、比べて見ることができる。説明の文や用語については、必要に応じて補足教材を用いるなどして分かりやすくすると、更に効果的である。			自分たちの町と比較しながら、絵に出てくる人物や乗り物、動物、建物等について質問することが効果的である。		
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	興味・関心を引き出しやすい絵や写真を使い、各地方の特徴を記載している。情報も豊富で、いろいろな角度から幅広く興味・関心を広げていくことができる。			絵と地形図の対比が容易にでき、地図や地図記号に対する興味・関心が高められる。		
	(2) 自主性や創造性、思考力の育成	付録の「47都道府県かるた」を使って、学んだことを確かめることができる。衛生写真と地図が同じ縮尺で掲載されており、見比べながらとらえていくことができる。			読んでいく中で、自分も一緒に行った気分になれる、自分ならどのように行くのか等いろいろと考えさせることができる。		
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	47都道府県の情報を、目的に応じて同じ項目を立て、まとめることができる。			絵本としてでなく、地形図や地図記号の学習に発展させることができる。		
	(2) 全体の分量	日本の7地方の地形や様子、見所や産業と日本の人口、世界遺産等の様々な情報のページで構成されている。			地図に対する興味づけとして、適切な分量である。		
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	すべての漢字に、ルビが付けられている。			すべての漢字にルビがつけてある。会話場面はイラストで描いてあり、楽しく読むことができる。		
	(2) 図表、写真等の資料	衛生写真や様々な地図が使われている。様々な情報を表した図表も多く使用されている。			場面ごとに地形図が添えられている。		
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	多色刷りである。地図、衛生写真のページ以外は背景が白である。			全体に柔らかな色調で印刷されている。		
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	文章は、8～13ポイントの文字で書かれている、行間は2mmである。文章による説明が多く、漢字も多く使用されている。			文字は9ポイント活字のゴシック体であり、字間、行間は適切である。		
	(3) 用紙、製本、表紙	検定教科書と同じ仕様の厚紙を表紙に使用している。			製本はしっかりしている。表紙は厚紙を使用し、堅ろうである。		
備考 (発行年)							
		(H23)			(H元)		

主要教科 [社会]

図書コード・書名		C 0 1	ピーター・スピアーの絵本1 せかいのひとびと	0 0 1	くらしに役立つ社会	
発行者・著者		評論社	ピーター・スピアー (絵と文) 松川真弓 (訳)	東洋館出版社	編集代表 大南英明	
判型・ページ数・価格		32.9×24.9cm	4 1 ページ	1,500円	25.7×18.3cm	115ページ 1,300円
採 択 基 準	基本観点					
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	世界の人々の様子や文化、歴史まで発展させて知識を深めることができる。		中学部・高等部の生徒が、日本の地理と歴史、社会生活や職業生活に必要な基礎的な知識や初歩的な事柄を体系的に学習することができる。		
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	D 段階		C・D 段階		
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	それぞれの絵の内容の理解を系統だてて、わかりやすく指導することが必要である。		「くらしを支える社会のしくみ」や「職業生活の相談と支援」等について、障害者の視点で理解することができる。		
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	日常生活の中で得られる世界各国の情報に、興味・関心を広げることができる。		日常生活での体験等と重ね合わせながら学習を進めることで、一層興味・関心を広げることができる。		
	(2) 自主性や創造性、思考力の育成	自分の身のまわりの人々の様子に目をむけ、理解し、考えることができる。		社会生活や職業生活を送る上で大切なことを考えることができる。		
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	使い方を工夫して、国際的理解を広げることができる。		見学や体験・実習等へ取り入れながら実践的に学習を進めることで、社会生活に生かせる知識へと発展させることができる。		
	(2) 全体の分量	年間を通して使用することができる。		序章、第1章、第2章、第3章、第4章で構成されている。		
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	明確でわかりやすい表現をしている。挿絵も表現が豊富である。		文章が主体であり、ルビが付けられている漢字もある。		
	(2) 図表、写真等の資料	使用されていない。		写真、地図、図、表、グラフ、イラスト等が使用されている。		
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	色刷りがやわらかな色調である。		初めの8ページはカラーで、都道府県、世界の国々、世界遺産、日本の歴史年表が掲載されている。本文は黒と緑の2色刷りである。		
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	3号文字で文章表現も簡略的である。		主に、26ポイントのタイトル、13ポイントのサブタイトル、12ポイントの説明文で書かれている。行間は3mmである。		
	(3) 用紙、製本、表紙	用紙は厚紙を使用している。表紙は厚紙を使用し、堅ろうである。やや大きい。		検定教科書と同じ仕様の厚紙を表紙に使用している。		
備 考 (発行年)				カバーに「特別支援教育中・高等部段階」と記載されている。 (H元) (H19)		

主要教科 [社会]

図書コード・書名		639	きみが考える・世の中のしくみ (1) 政治ってなんだろう？		604	はじめてのちずえほん にほんちずのえほん	
発行者・著者		偕成社	峯村良子 作・絵		金の星社	WILL子ども知育研究所・編著 すずきあさこ・絵	
判型・ページ数・価格		27.3×22cm	32ページ	1,800円	26.5×21.5cm	32ページ	1,400円
採択基準	基本観点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	身近な生活場面の中で世の中の仕組みについて学習できる。児童生徒が身近な生活場면을想定し、互いに話し合いをしながら政治について学習することが可能である。			日本の地形、自然、都道府県、県庁所在地について学習することができる。日本地図が挿絵で簡単に示されており、初めての学習で地図について興味・関心を持つことができる。		
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切であること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	C・D 段階			C・D 段階		
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	世の中のしくみについてイメージを持ちやすいように、人々の願いのシンボルとして木を中心に据えたストーリーで構成されている。児童生徒が話し合いができるように働きかけをしていくことが必要である。			日本の地形、自然、都道府県、県庁所在地について説明されている。日本地図について地方別に大まかな説明がされているため、初めて地図について学ぶ場合は、丁寧に説明をする配慮が必要である。		
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	身近な生活場면을想定して説明されているため、生活経験の中で考えることができ、政治について興味・関心を持つことができる。			日本の地形、自然、都道府県、県庁所在地について大きめの地図中に挿絵で説明されている。調べ学習を通して、住んでいる都道府県について興味・関心をもつことができる。		
	(2) 自主性や創造性、思考力の育成	身近な生活場면을想定して、世の中の仕組みについて考えることができ、自らの生活に合わせて思考することができる。			調べ学習など他の都道府県について調べ、日本の各地の特徴について学習することができる。		
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	世の中の仕組みについて児童生徒会活動などとも関連づけて考えることができる。			各都道府県の地図とともに、各県の特徴について発展させた学習をすることができる。		
	(2) 全体の分量	1つのテーマに沿った挿絵が見開き2ページに示されている。テーマ別に学習することができる。			各地方について見開き2ページで説明されている。調べ学習で年間を通して使用できる。		
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	漢字にはルビが振られている。文字は少なめである。			文字は全てひらがなである。ひらがなの簡単な文で説明されている。		
	(2) 図表、写真等の資料	使用されていない。			使用されていない。		
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	多色刷りである。			背景は水色を基調とし多色刷りである。		
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	文字の大きさは11ポイント程度である。			文字は11ポイント程度であり、文字は少な目である。		
	(3) 用紙、製本、表紙	表紙は堅ろうな厚紙である。			表紙は厚紙で堅ろうである。		
備考 (発行年)							
		(H25)			(H23)		

主要教科 [社会]

図書コード・書名		638	きつずジャポニカセレクション 10才までに知っておきたい日本 まるごとガイドブック		627	読んで見て楽しむ 日本地図帳増補改訂版	
発行者・著者		小学館	監修 池上彰		学習研究社	発行人 川田夏子	
判型・ページ数・価格		25.5×18.3cm	128ページ	1,500円	25.5×18.3cm	103ページ	1,200円
採択基準	基本観点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	日本の仕組みについて56個のテーマを選び挿絵や写真で説明している。地理、歴史、文化、社会、経済について説明されている。			日本地図や都道府県別の地図について学習することができる。各地の特産、名産、産業、日本の世界遺産についても調べ学習をすることができる。地図について学ぶ上では地図記号に関する記載は少ない。		
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切であること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	C・D 段階			(C)・D段階		
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	日本の仕組みについて興味・関心を持ちやすいように写真や挿絵で説明している。写真や挿絵を見ながら説明することで、より理解が深まりやすい。			地図には都道府県名や地方名が詳細に記載されている。興味を持ちやすいように挿絵や図で示されている。全体的に情報量が多いため、学習する箇所を取り出して学習をする配慮が必要である。		
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	日本の地理、歴史、文化、社会、経済について説明がされており、その時々での学習に合わせた内容の選択が可能である。			各地の特産、名産、産業、日本の世界遺産について挿絵、図、写真で説明されている。		
	(2) 自主性や創造性、思考力の育成	日本の仕組みについて学ぶことができ、自ら思考できるように、各ページにはクイズが書かれており、自ら考えることができる。			日本地図や都道府県別の地図について学ぶとともに、各地の特産、名産、産業、日本の世界遺産について考えて学習が可能である。		
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	身近なことから日本の仕組みについて学び、日本の地理、歴史、文化、社会、経済について発展して考えることができる。			各都道府県の地図とともに、各県の特徴について発展させた学習をすることができる。		
	(2) 全体の分量	見開き2ページに日本の仕組みについて1つ挙げられおり、年間を通して使用できる。			調べ学習として、年間を通して使用できる分量である。		
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	漢字にはルビが振られている。文章量が比較的多い。			全ての漢字にルビが振られている。		
	(2) 図表、写真等の資料	図、写真で説明がされている。			日本地図や都道府県別の地図が載せられている。		
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	背景は白で、3から4色刷りである。			多色刷りである。		
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	文字は10.5ポイント程度で文字数が多い。			地図帳の文字はやや小さめである。		
	(3) 用紙、製本、表紙	表紙は厚紙を使用している。			表紙は厚紙である。		
備 考 (発行年)							
		(H24)			(H27)		

主要教科 [社会]

図書コード・書名		552	世界一で覚えよう！ はじめての世界地図		506	知的障害・発達障害の人たちの ための 見てわかる社会生活ガイド集	
発行者・著者		NHK出版		監修 松井秀郎		ジアース 教育新社	加藤勝博
判型・ページ数・価格		25.5×18.3cm	95ページ	1,600円	28×21cm	142ページ	2,000円
採択基準	基本観点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	地図や地球儀に親しみながら、様々な項目における「世界一」を知り、外国の様子や世界の出来事などに興味・関心を持つことができる。		仕事に関する技術、安心で安全に暮らすこと、生活の管理やお金の管理、余暇活動など、社会生活を営むための基本的なルール、マナーや技術について具体的な事例から学ぶことができる。			
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切であること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	(C)・D段階		D 段階			
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	イラストや地図、それに伴う文字情報が多いため、絵や写真の内容を丁寧に理解できるように配慮することが大切である。		実際の事例が挿絵や図表を用いて説明されている。書名に知的障害・発達障害という文言があり、生徒や保護者への提示の際に配慮が必要である。			
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	世界各地の地理的特徴や特産物を知ることにより、その地域に住む人々の暮らしをイメージし、主な国と地域について興味・関心を広げることができる。		職場実習の事前学習や、卒業後の社会生活を見据え、具体的実践的な視点で興味・関心を広げることができる。			
	(2) 自主性や創造性、思考力の育成	興味・関心のあるトピックスから、私たちの国の様子や自分の暮らしを比較し、考えを深めることができる。また、付属の手作り地球儀で世界の諸地域の位置を確認することができる。		社会生活や職業生活で大切なルールやマナーについて考えることができる。また、トラブルへの対処やリスク回避という視点についても学ぶことができる。			
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	テレビなどで見聞きする世界の出来事や、私たちの暮らしとのつながりについて興味・関心を持つことで、国際理解や現代社会の出来事へと学習を広げることができる。		実習や見学などで経験した事柄を取り入れることで、より社会生活に活かせる知識へと発展させることができる。			
	(2) 全体の分量	全部で28のトピックスからなり、主な国と地域について年間を通して学習できる分量である。		第1章から4章にわたっており、年間を通して利用できる分量である。			
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	コラムの一部を除いて全ての漢字にルビが振っており、文章は平易で読みやすい。		全ての漢字にルビが振っており、明確で分かりやすい表現をしている。			
	(2) 図表、写真等の資料	国旗や世界地図はカラーである。		挿絵や図表、チャート図などが多く使用されている。			
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	16ページまではカラー印刷、それ以外は4色刷りで印刷は鮮明である。		2色刷りで柔らかな色調である。挿絵と説明が併記されている。			
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	説明文は10ポイント、地図上の表記については主に6から8ポイント程度で書かれている。		本文は10から12ポイント程度で書かれている。			
	(3) 用紙、製本、表紙	製本はしっかりとしている。		表紙は厚紙を使用している。			
備考 (発行年)				(H24)	(H25)		